



インカロング 集合写真 より

目次

会長の言葉	浅野 昭(12期)	1	オリエンついで温泉巡り	坪居 大介(24期)	7
幹事長の言葉	北村 伸介(25期)	2	オリエンテーリングと俺	小山 温史(27期)	9
幹事就任報告	千田 浩介(28期)	3	近況報告	鈴木 聖唯(32期)	10
新部長の言葉	大倉 辰興(34期)	3	活動報告	坪居 大介(24期)	11
前部長の言葉	長坂 侑亮(33期)	4	2012-2013 会計報告	比嘉 友紀(27期)	12
コーチの言葉	山本 剛史(32期)	5	ML・ホームページについて	古谷 嵩(29期)	13
千葉大・東工大大会を開催して	古林 琢(34期)	6	編集後記	古谷 嵩(29期)	13

久しぶり？のスロープをお届けすることになりました。

最近のO L Tの大きなニュースとしては、(千葉大・) 東工大大会の開催になるでしょう。1995年の野津田公園での開催から18年、O L T杯の継続開催および外部参加化、大岡山スプリント大会の開催、数多くのOBがインカレ等など大会運営に携わるなど、O L Tの大会運営能力は、それなりのものがあつたと思われませんが、いざ「東工大大会」と銘打つた大会の開催なると、なかなかタイミングが合わず、これだけの時間が必要だつたのではないかと思います。わたしは残念ながら、参加できませんでしたが、当日は天候も良く、大会は無事成功したと聞いております。運営に携わつたみなさん、本当にお疲れさまでした。

10年ほど前は、大学生よりも社会人のほうがパワーがあると言われたO L界ですが、近年はおじさんが少しくたびれてしまつたのか、大学生たちの若い力を感じる事が多いです。つばめ会としては、それを少しでもサポートできるよう活動していきたい、と考えております。今回の総会を持って、幹事長を始め、役員が交代になります。今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。

皆さんこんにちは。幹事長の北村です。

今年もあとわずかとなりましたが、いかがお過ごしでしょうか？今年も夏が長いなあと思っていたら、秋を通り越して一気に冬の季節となってしまいました。インフルエンザ対策で予防接種をしたのは良いですが、その事をすっかり忘れて当日夜には酒を飲み、妙に腕が腫れた状態でこの原稿を書いております。

近況ですが、オリエンテーリングは最近ほとんど、というか全く出来ておりません。幹事長が体たらくで申し訳ありません。昨年結婚して体重も右肩上がり、登り続けてようやくピークに到達したものの、いつまでたっても下りが見えないといった状態です。

これではマズイと思い、一念発起して参加したのが新聞社主催の「大人のスポーツテスト」。東京五輪に向けて改装される国立競技場で実施されるということで参加してみました。結果は「体力年齢：35-39歳」との評価、実年齢より上回っている事にショック。更には50m走を全力で走ったらハムストリング肉離れで救護所へ…散々な結果でした。これを教訓に、今後は再びスポーツクラブで汗を流し、ゆくゆくはオリエンテーリングで山を再び走れたらと思っております。

話は変わりますが、今秋より東工大社会人教育院のキャリアアップMOTプログラム内、「ストラテジックSCM」コースを受講しています。期間は半年、週1回夜に田町キャンパスで開講されます。学生時代も似たような研究を行っていたのですが、社会人向けだけあってより実務的な話が充実。グループ課題の為に講義以外の日にも集まって議論をするなどで時間も多く取られますが、それだけ得るものも大きいはずなのでうまく乗り切れたらと思っております。

さて、このつばめ会総会にて現幹事の任期が切れ、次期幹事にバトンを渡すこととなります。あっという間の2年間でしたが、今後は次期幹事のサポートをしつつ、よりつばめ会の活動が活発になればと思っております。

なお、次期幹事長は28期の伊藤将宏さんとなりますので、つばめ会会員の皆さんの今後のつばめ会活動への更なるご理解、ご協力を頂ければ幸いです。最後になりますが、2年間どうもありがとうございました。

無沙汰しております。28期の千田です。

この度会計に就任致しましたので報告させていただきます。さて、現役時代は競技派ではなく、通常参加派の私、しかも現在はまったくオリエンとは疎遠になってしまっている私がなぜか三役に選任されたことを疑問に思っている方も多いと思いますが、会計に就任した理由としては、関東（茨城）で勤務しており東京に出てきやすい事、及び今年の夏、新会長の伊藤さんのところへ飲みに行ってしまったためだと考えております。若干悔やまれますね。

仕事に関しては、不慣れな点多々あるかと思いますが、お金の方はきちり管理していく次第でありますので、どうぞよろしくお願いします。

簡単ですが、就任の挨拶とさせていただきます。

新部長の言葉

つばめ会の皆様初めまして。今年度の部長を務めさせていただいている34期の大倉です。今年度の活動報告をしようと思います。

新歓の結果、36期は10人が入部しました。現時点で9人になってしまいましたが、この9人は平日の練習にもオリエンテーリングにもよく参加しているので、今後のOLTを担う存在になるはずです。

10月には富士宮市奇跡の森でインカレロングが行われました。我が部からは、エリートには戸上君、吉田君の2人が出場しました。京大京女大会で公認E権を獲得するなど波に乗っていた戸上君に期待が持たれましたが、コンパスの故障というトラブルから満足のいくレースとはならなかったようです。春インカレでの活躍に期待しましょう。

そして11月17日には、千葉大・東工大オリエンテーリング大会が開催されました。ここ数年の悲願となっていた山でのオリエンテーリング大会の開催です。両部とも大きな大会の運営経験はなかったので、参加者400人を越える大会を本当に運営できるのか、と心配もありました。しかし、競技責任者の古林君、渉外責任者の木所君を中心に慎重に準備を進め、無事問題なく運営することができました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。

そんな大会運営も終わったばかりですが、12月8日にはミドルセレが行われます。現在、部員一同練習に励んでおりますので、是非ひとりでも多く選手権通過者が出るよう応援していただけたらと思います。加えて、毎年恒例となりつつある東工大スプリントを1月25日に開催するので、そちらもよろしくお願いします。

昨年度部長を務めさせて頂いた、長坂です。

遅くなりましたが、昨年度を振り返りまして、報告の方をさせていただきたいと思います。

2013年の3月、インカレが終わった時から33期での運営がスタートしました。

運営には不慣れな中、最初の仕事である新歓活動が始まりました。運営期として、また部長として至らないところは多くありましたが、当時の4年生、M1である31、32期の助けもあり、人数が少ないながらも良質な部員を集めることができました。また、この時にはBBQという新しい試みをできたのもよかったように思います。

オリエンテーリング活動について、ロング、ミドルともに前年度に比べてエリートの人数を減らすという結果になってしまいました。手厚いコーチの援護があったのかかわらず、僕自身結果を出せなかったのは大変悔しいものでした。ただ、部員全体に悔しいという気持ちが残ったのか、今年の3年生を始めとして、下級生にやる気があふれているので、3年生には引き続き頑張ってもらいたいと思います。

インカレ以外にも反省するべき点は多々ありました。日々の活動でも、一時参加者の低下がありました。その後、テコ入れをすることで、いくらか回復はしましたが、そのような状態を招いたことには部長としての求心力が足りなかったのだと思っています。また、大会に行ったりイベントごとを起こすときに、先輩方のように周りをあまり巻き込めていなかったようにも感じています。ただ、これについても、今年は多くの大会に1年生を含んで多くの人数で行っているようなので、安心をしているところです。

反省すべき点は多々ありますが、年度の最初に掲げた、「楽しく」というスローガンについては、そうなれたように思います。日々活動を行うのもオリエン活動も、そしてOLT的に外せない飲み会も楽しく過ごせたように思えます。このような環境を作れたのも、部員の助けとOBさんの支えがあったればこそだったと思います。OLTに関わってくださった方々への感謝と、これからのOLTの飛躍を祈って昨年度の反省を締めさせていただきます。

つばめ会の皆様こんにちは。OLT32期、現 M1 の山本剛史、通称やまたけと申します。お久しぶりです。

さて、私は現在 OLT のヘッドコーチを務めさせて頂いています。コーチから見た OLT の現状について少しばかり書かせていただきます。

今年の OLT での一番のニュースといえば、11月17日に矢板にて行われました、千葉大・東工大大会でしょうが、それについては古林くんが詳しく書いてくれると思うので、ここではその他の話をば。本年度のロングセレはもはや関東ティアにはお馴染みの日光口（07年のインカレロングトレイン）にて行われました。日光らしい高速レースが展開された模様です。OLT からの通過者は戸上（35期）と吉田（34期）の2名でした。高速展開のレースにも関わらず、吉田は巡行145ながらミス率を6%に抑えてセレを通過し、他大のオフィシャルの間でも話題となりました（笑）。成長株だった古林（34期）はいまいち伸びきらず、通過は逃しましたが9月の北大大会ではM21Aクラスで2位と健闘し、E権を獲得するなど今後が楽しみです。

夏休みには、コースセットに焦点を当て、プランナーがどのようにコースを組むかということを考えてもらおうと講習を開いたりもしました。現役が地図と向き合う新たな視点を得てくれればと思います。また、9月に行われました OLT 杯（鹿沼土の里）は中止も視野に入るようなあいにくの悪天で、参加者が減ってしまいましたが、なんとか開催することが出来ました。技術的にも体力的にも非常にタフなコースを組んでお迎えしたのですが、天候のせいもあって大荒れになってしまったようです。でもあのコースは面白いと思う。

インカレロングは、富士の奇跡にて工大祭にぶつけた10月13日に行われました。インカレロングというと寒い印象が強いのですが、今年は開催時期が早かったこともありとても暑かったです。戸上・吉田はそれぞれ初のロングエリートでした。また、10kmを超えるオリエンも経験がないということで、いかにリズムを崩さず走るか、というあたりについていろいろ助言したように思います。戸上はレース途中でコンパスが着磁するという不運に見まわれ不発、吉田も勝負レッグで飛んでしまったようです。期待していた併設の方も、これ言っていないところもなく、反省点の多いインカレロングであったと思います。

この slope が発行されるつばめ会総会の翌日には日光所野にてミドルセレが行われます。熱いインカレを皆さんにお見せすることが、いつもご支援を賜りますつばめ会への恩返しであると私は考えています。大会でいまいち結果を残せていない今年度。今度こそ結果を残せるよう、残り短い期間ですが、選手とコーチ2人3脚で頑張っまいりますので、温かいご支援、ご声援どうかよろしくお願いします。

OLT32期 13年度ヘッドコーチ 山本剛史

千葉大・東工大大会の競技責任者、および副実行委員長でした古林です。まず、参加してくださったつばめ会のみなさん、本当にありがとうございます。

大会の開催を無事に行えてとてもほっとしています。私がこの文章を書いている時ではまだ会計や反省会は終わっていないのですが、大きなトラブルもなく終わりました。

今回の大会開催のきっかけは、東工大スプリントを私が入学してから2回開催していたことです。ここで私は初めての東工大スプリント運営でもコースプランナーをしていました。この2回の大会開催で非スプリントの大会を開催してみたいという欲が私の中に出てきました。

そもそも、私は他に大学クラブによる大会開催が行われているのを見て、私たちのクラブでもやってみるべきではないのか、とっていました。その苦勞を感じてみたかったというのが大きいです。大会を運営することによって、参加するときの心持ちや態度、またオリエンテーリングに対する姿勢も変わってきて、東工大 OLT の一部員であった、ということ誇れるようになるのではないかと、とっていました。

そこで山川さんからの今回の体制による大会実施についての提案が持ち出されました。私はこれに乗って大会を開いてみたい、と思い東工大として立候補してみてもどうかと、部会で持ちかけました。当時の部員のみなさんもそれに同乗してくれて、大会を開催することが決定して、それから今に至ります。周りの部員、そして同期の協力によって今回の大会の開催にこぎつけられた、というのが本当にうれしいです。

千葉大との合同大会の開催についてですが、これは東工大が大会を運営するにあたって大きな助けになりました。千葉大はここ最近でこそ大規模な大会の開催はなかったですが、それなりのノウハウがきちんと継承されているようで、特に実行委員長であった山本がよくやってくれていたと感じます。これを機に、東工大の各部員もほかの大学のオリエンテニアと関われるようになって欲しいです。

ただ反省点を挙げるとするならば、私と実行委員長の山本、それに運営責任者であった千葉大の後藤に少し仕事が寄りすぎていて、周りにうまく分担をさせられていなかったかなと感じております。ただ、この大会で得た経験は、OLT という部にとっても、各部員にとっても良いものになってくれたと思っています。

私はこの大会が OLT にとって大きなものとなって、また大会の開催が行われればと思っています。今回の大会を開いたうえで、楽しかったと言ってくれた後輩がいてくれたことに非常に嬉しく思っています。また、大規模大会の運営が一人もいない中での大会開催ができたということは他の大学クラブにおいても、大会の開催に踏み切れるきっかけとなれたのではと思います。

最後に、OLT を支えてくださっているつばめ会の皆さんにもう一度、感謝の意を示して終わりたいと思います。ありがとうございました。

オリエンついで温泉巡り

24期 坪居大介

オリエン暦はもうOBになって7年目、大学入学から数えて13年目になりますが、群馬に住んでいる都合で自宅⇄オリエン会場はほとんど1人で、かつ帰りが遅くなっても渋滞の恐れがないこともあり、最近ではしょっちゅうオリエン帰りに温泉に行っています。で、世の中には物凄い温泉がいろいろあるので、その辺の紹介をしてみようかと思えます。

※温泉利用シチュエーション:温泉に行くのはオリエンのついでなので、そのときのルート
※温泉のカテゴリ:食塩・硫黄・鉄・酸性、など。詳しくはググってね。

・神流川温泉 白寿の湯(埼玉県)
坪居的温泉利用シチュエーション:秩父でオリエン後群馬へ帰る最中
東京の人が立ち寄るなら:群馬でオリエン後、関越道～上信越道藤岡ICで降りて20分で温泉へ、帰りは本庄児玉ICか国道254号を引っ張ってお好きなICから関越道に乗りなおし
温泉のカテゴリ:食塩+鉄
価格:700円 施設:内風呂+露天
におい:鉄っぽいにおい 色:濃い赤茶色、不透明
特徴:塩分が非常に濃い(約3%)
風呂のタイルが温泉析出物のせいで茶色の田んぼのようになっている



風景はなんでもない田舎ではあるものの、温泉の質は非常に高い。食塩泉であるためのぼせやすいが、露天が大きくて熱くないので露天でゆっくりするのがお勧め。後なんとと言っても床のタイルの変色+(析出物で)ごつごつつぷりがやばい。

・喜連川早乙女温泉(栃木県)
坪居的温泉利用シチュエーション:矢板でオリエン後の帰り
東京の人が立ち寄るなら:矢板でオリエン後、矢板ICで乗らずにインターから20分で温泉へ、帰りは矢板ICへ戻るか国道4号を引っ張って宇都宮上三川ICから東北道へ
温泉のカテゴリ:食塩+硫黄+油?
価格:1000円、17時以降は割引 施設:内風呂、シャンプーなし
におい:謎のにおい(油らしい) 色:エメラルドグリーン～白濁
特徴:塩分が濃い(約1.4%)
シャワーから温泉が出る
施設が全体的にぼろい



シャンプーだけがない(ボディソープはある)のは謎だが、多分温泉(要は塩水)で頭を洗っても意味ないでしょ?って言いたいんだろうか。
値段が高いのが問題であるが、それさえ我慢できれば良い温泉。あと東京から行きやすい。近くにも似た温泉(ただし泉質は劣る)があるようなので、値段が高いのが嫌ならそちらへ。矢板温泉よりも断然お勧め。

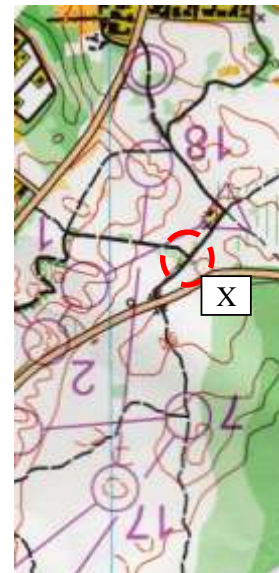
・塩の湯温泉 サンセット中条(ふれあい館) (新潟県)
 坪居的温泉利用シチュエーション:新潟大会の帰り
 東京の人が立ち寄るなら:まあ頑張ってください。日本海
 東北自動車道中条 ICそば、新潟駅から40分
 温泉のカテゴリ:食塩+ヨウ素!?!+アンモニア!?!
 価格:350円 施設:内風呂、シャンプー・ボディソープなし(石鹸のみ)、サウナもあるが別料金(+100円)
 におい:変なおい(消毒液っぽい) 色:薄い茶褐色
 特徴:塩分が非常に濃い(約3%=海水並み)
 黒い湯の花が大量に舞う
 においが温泉を出ても残る(特にタオル)



日本海沿いの温泉。この辺は石油が取れるため、海上石油プラットフォームがある。
 なんといってもにおいがやばい。風呂への扉を開けた瞬間に「変なおいがする…」なんて思ったのは間違いなくこの時が初めて。
 どうも石油を掘ろうとしたら温泉が出たらしく、そのせいか臭素・ヨウ素・アンモニアが大量に含まれているらしい。塩分の量もとんでもなく多いけど。
 風呂の温度も高め+塩分濃度が超高いため、異常なほど体があたたまる。ぶっちゃけサウナは必要ない。で、風呂から上がった後もにおいがかなり残る。日曜日にこの風呂に入ったら、月曜日のためにきちんと上がり湯をしておいたほうが良い。ハンドタオルは次の日の洗濯寸前時点でも凄まじいにおいを放っていた。
 あと、この辺にはもっと凄い温泉(西方の湯)があるが、ここはあまりに怪しい設備(宗教法人の施設)、あまりに凄い温泉のにおい(お湯が黒くてウ○コのにおいがするらしい…)のため、僕にはちょっと無理でした。

というわけで、ここ最近入ったとんでもない温泉3件でした。
 一番とんでもないところだったサンセット中条(ふれあい館)はともかく、他2つは比較的行きやすいと思うので、オリエン帰りその他の際はぜひどうぞ。
 オリエン帰りだけでなく、普通に日帰りで旅行する際にも寄ってみてはいかがでしょうか。

・おまけ:草津温泉大滝の湯・万座温泉豊国館(群馬県)
 高崎から車で2時間くらい、オリエン後に寄れる場所ではない
 温泉のカテゴリ:酸性+硫黄(万座)
 価格:800円(草津大滝の湯)、500円(万座豊国館)
 施設:内風呂・サウナ・露天・38℃~46℃内風呂(草津)、
 内風呂・サウナ(万座)
 におい:いわゆる硫黄臭 色:白濁、度合いは万座>草津
 特徴:pH どちらも2前後
 長く温泉に入ると足がピリピリする



・おまけ2:新潟大会にて
 Q:→の17-18で2分ミスした原因を答えなさい。
 A:X地点(道の分岐)にポストがあったので左に曲がったから

…どれだけ頭の悪いことをしているかは察してください。
 ちなみに俺の後ろを走っていた人も釣れました。

トータスで念願だったクラブカップ7人リレー優勝を果たしました。全然運動する時間がなく、週末ランナーになり、最低限の運動しかできていなかったけどそこそこの走りが出ました。

アンカーの結城がラスポに現れるまでのドキドキ感と現れた時の喜びは最高です。そんな気持ちになれたのは久しぶり。まったく同じ希望が丘のテラインで大嶋が6位入賞のラスポに現れたとき以来。またトレーニング頑張ろうかな。

この年齢でこんな気持ちになれるのだからオリエンテーリングはやめられませんね。

そういったこと考えているとみんなでオリエンテーリング出来た OLT よかったなあとしみじみ思います。

ただ、東工大 OLT の思い出として思い出すのは飲み会のことばかりなことに今更気づく。どうしたことなんだろう。また馬鹿やりたいもんです。

次の目標を失ってしまいましたが、まずは1月スーパーママチャリ GP なるものに出てきます。

自称ママチャリの世界選手権とのこと。興味のある人は検索してみてください。

結婚祝ってくださった方ありがとうございました。特にトータスイベント来てくださった山根さん、徳江さん、坪居さん、たくみん、そはてい、おまけに古谷ありがとう。

近況もオリエンテーリング尽くしなので進歩していない自分ですがこれからもよろしくお願ひします。

つばめ会のみなさま、初めまして or ご無沙汰しています。32期(現M1)の鈴木聖唯です。現役の頃は部長という大役を務めさせていただき、研究室に入る前まではそれなりに行事に参加してきました。現在は一応コーチという役職にはついていますが、上級生の指導をするには少々実力に欠けますので、インカレ関連や対策練のお手伝い役としてたまに参加している程度です。また、つばめ会では事務局長を務めさせていただいております。

さて、SLOPEの原稿を書くにあたって、今のOLTの雰囲気とかを書いたほうがいいのかとも思いましたが、それは現部長の大倉、元部長の長坂、ヘッドコーチの山本、僕より今のOLTに詳しい坪居さんの誰かが書いてくれると信じて、ここでは今自分が何をしているかについて淡々と述べて行きたいと思います。現在私は東工大大学院の化学系、特に合成系の研究室に所属しています。合成系の研究室というのは拘束時間が鬼のように長く、結果に対してシビアなことで有名でありまして、私の研究室も例外ではなく鬱で辞めていく人が出るくらいです。個人的な意見としては、辞めていった人たちは人生に達観して修士号を取る意味を失った人か、今までに苦しい経験をしてこなかったような人なのかなあという気がします。実際、高校の剣道部やオリエンの競技中に比べたら、今の苦しさ(?)なんか屁みたいなものです。金銭的な理由や一身上の都合がなければドクターに進学するのもアリだと考えているくらいです。

研究室にいる時間が長いので、帰宅は早くて10時、遅いと1時といった感じになります。帰って晩飯と入浴を済ませたら寝る時間ですが、1日の中に趣味の時間が一切ないというのが耐えられず、寝る前にゲームをするかニコ動を見るのが日課となっています(この程度の趣味、書いてて悲しい)。その結果寝るのが2時くらいになり、翌朝疲れが残ってしまいますが、精神の健康は身体の健康に優先されるべきという持論のもとでやっています。アルバイトをする時間はないので基本金欠で、休日はたまにしか遊びに行かず、基本自宅でごろ寝か研究室でセミナーの準備になります。お金はないけど時間はある学生、お金はあるけど時間はない社会人に対して、お金もないし時間もない研究生という最悪のポジションにいます。月に300時間くらいは研究に充てているので、仮に時給1000円とすれば月に30万、しかし現状は無給でなおかつ奨学金のせいで月に-5万です。先ほどドクターもアリとか書いていましたがそれはやっぱり無しにして、早く社会人になりたいと心から思います。まあ、社会人になったらなつたで嫌なことは腐る程出でくるのだとは思いますが。そんなこんなで私は味気ない日常を淡々と送っています。もしかしたら、私が書くSLOPEの原稿はこれが最初で最後になるかもしれません。オリエンテリングを続ける予定はないので競技者として会うことはないでしょう。ただ、18分の7のサバイバルに生き残った32期戦士の一人としてどこかで図太く生きていますとは思っていますので、偶然見かけたときには声をかけてください。それでは。

2013年度つばめ会活動実績(2012.12～2013.12)

年月日	開催場所	イベント名	詳細
2012.12	大岡山	つばめ会総会・懇親会開催	
2012.12	日光	関東ミドルセレ	サプリメント差し入れ
2013.02	矢板	山リハリレー (旧関東リレー)	OBチームで2チーム出走
2013.02		つばめ会会報「slope」31号 を発行	
2013.02	日光	OLT-IC 直前合宿	OBがコーチとして参加
2013.03	日光	インカレミドル・リレー	プログラムに広告を出稿 サプリメント差し入れ
2013.03	福井	全日本大会	選手権は円井(19期)が出走
2013.04		事務局長交代	楠(31期)から鈴木(32期)へ交代
2013.06	大岡山	M1への説明会・懇親会開催	新M1(32期)は7名
2013.06	日光	関東ロングセレ	サプリメント差し入れ
2013.08	八ヶ岳	OLT 夏合宿	OBが多数参加
2013.08	日光	OLT 秋合宿	OBがコーチとして参加
2013.09	鹿沼	OLT 杯	つばめ杯は大嶋(31期)が優勝 新人優勝者へ賞品を提供
2013.10	富士	インカレロング	プログラムに広告を出稿 サプリメント差し入れ
2013.11	矢板	千葉大・東工大大会	OLT現役が運営する大会 OBが多数参加

※ 敬称略とさせていただきます。ご了承ください。

※ 活動内容には有志での活動を含んでいます。また、有志での活動は他にも多数あると思われるので、全てを書ききれていません。ご容赦ください。

2012-13年度 つばめ会 収支報告書

期間：2012年12月9日～2013年12月6日

収入の部

科目	金額	摘要
前年度繰越金	263,691	
会員会費	33,000	11人
学生会員会費	10,500	6人
寄付	0	
利息	44	
合計	307,235	うち繰越金以外 42,000

支出の部

科目	金額	摘要
インカレロング差し入れ	5,031	アミノバイタル 他
インカレミドルプログラム広告	32,000	
インカレミドル差し入れ	4,956	アミノバイタル 他
インカレミドル MEB入賞祝い	1,000	
インカレロングセレ差し入れ	4,196	アミノバイタル 他
インカレロング差し入れ	1,980	
インカレロング広告	18,000	
インカレミドルセレ差し入れ	4,190	アミノバイタル 他
OLT杯新人賞賞品	4,750	
総会準備	8,200	2回分
合計	84,303	

(収入合計) 307,235

(支出合計) 84,303

(次年度繰越金) 221,432

上記の通り、2012-13年度収支報告いたします。

会計 比嘉友紀

ML・ホームページについて

つばめ会 ML(メーリングリスト)

つばめ会会員間の連絡手段の1つとして立ち上げています。大会情報・観戦記、同期会・飲み会の連絡、近況報告などお気軽に使ってください。メールアドレスは となります。ご不明な点がございましたら、管理者の近藤 (28期)までご連絡ください。

また、この ML に関するホームページ(登録メンバーのみ)にて過去ログなどを閲覧することもできます。<http://groups.yahoo.co.jp/group/tsubame/> までアクセスしてください。

また、つばめ会および東工大 OLT のホームページが稼働中です。ぜひご覧ください。

つばめ会のホームページ 管理人:古谷 (29期) →楠 (31期)

<http://www.geocities.jp/tsubamekai/>

東工大 OLT のホームページ 管理人:福地(33期)

http://www.geocities.co.jp/titech_OLT/

編集後記

御無沙汰しております。Slope#32 です。

前回 Slope#31 編集後記にて締切後 1 週間以内に作ります!!と言いながら、締切を設定せずに 10 ヶ月が立ちました。申し訳ない気持ちでいっぱいです。

2 年間、数々の反省をしながら発行した Slope を次号より楠君に引継ぎます。無事?任期を終了させて頂きました。2 年任期というのは実に考えられていまして、院卒 2 年間後が運営期の顔が分かる限界なのです。

多くの皆様に原稿を依頼させていただきました。皆様が快諾して下さり、楽しく広報を発行することができたこと。この場を借りて御礼申し上げます。

いつかまた、どこかでお会い致しましょう。

古谷 嵩 (29期)

東京工業大学オリエンテーリング部 OB/OG 会「つばめ会」会報 “Slope” 32 号 発行責任者:北村 伸介 編集責任者:古谷 嵩 (takashi_0605@hotmail.com) 発行年月日:2013 年 12 月 2 日
--